

(2) 自主事業への取組

月寒公園では、いつも公園が生活の中にある「パークライフ」の理念に基づき管理します。公園を身近に感じ、公園が人と人の出会いの場、つながりが生まれる場として機能するためのきっかけとなるように、自主事業に取り組みます。パークライフセンターにおいては、公園利用者の幅広いニーズに応え、公平・平等な運営を目指します。イベントについては、人と人がつながり、多様な公園活動が展開されるきっかけとなるような取り組みを行います。

1) 取組の基本的な考え方

自主事業は、公園の設置目的と効用を最大限に高め、公園の特徴を生かすべく、次の観点を基本的な考え方として計画立案、実施します。これをベースに、幼児から高齢者、親子など幅広い層を対象に、お客様の目的やニーズに応じて、たくさんの方々に来園いただけるよう、魅力あるプログラムを提供します。

また、自主事業は、仕様書に記載された業務に影響のないように計画するとともに、札幌市に申請書を提出し、承認を得た上で実施します。

なお、自主事業のうち、税法上の収益事業における利益は、公益事業である公園の利用促進や利用者サービスの向上、広報活動等の管理運営の経費に充当します。

① 公平・平等

自主事業の周知と募集に当たっては、公式ホームページ、チラシなどで広く周知し、市民の事業参加への機会均等を確保します。

② 安全体制の確保

行催事の開催に当たっては、会場や使用備品等の点検をはじめ、事故防止を徹底します。また、事業ごとに必要な人員を配置して、適正な利用指導を行います。

③ コンプライアンス

自主事業は、諸法令を確認・遵守して計画立案します。

④ リーズナブルな価格設定

自主事業における講習等の受講料やイベント参加料は、どなたでも気軽に参加・継続できるよう低価格に設定します。

⑤ ニーズに対応した事業

公園や事業に対する要望などについて、お客様から直接の聞き取りやアンケートを行うほか、アンケートボックス、電子メールなどにより的確に把握し、管理運営と事業に反映させます。

⑥ クオリティの確保

自主事業のカリキュラムや内容については、これまでの当公園管理の経験と、多くの公園を管理しているスケールメリットを生かして作成します。また講師は、事業内容により経験と知識の豊かな当コンソーシアムスタッフが当たり、特殊な能力や知識を必要とするものについては外部講師を招聘するなどして、高いクオリティを確保します。

⑦ 地域やボランティア等との連携

自主事業として実施する比較的大きなイベントについては、市民協議会をはじめ、地域の方々や公園ボランティアとの協働・連携をベースに進めます。また、このことにより団体やボランティアの活動の活性化に努めます。

⑧ 事故発生時の対応

自主事業の実施に際して、施設賠償責任保険のほか、レクリエーション保険等に参加し、万全の措置を講じます。万一、参加者がケガをするなどの事故が発生した場合には、迅速かつ誠意を持って対応します。

2) 取組の具体的内容

① パークライフセンター カフェスペース及び売店（収益事業）

平成 29 年度にオープンしたパークライフセンターには、繁忙期の休日になると、1 日 2,000 人もの方が訪れ、公園利用に欠かせない存在となっています。館内でのくつろぎや交流のお供になるような、ひきたてコーヒーのセルフサービスや地域のおいしい菓子を提供します。豊平区内の福祉施設が製造する菓子を積極的に販売し、就労支援につなげます。またシャボン玉等のおもちゃを販売し、多目的広場のあそびの幅を広げます。

カフェコーナー・売店の運営					
実施時期/回数	数回/年				
対象	市民				
連携団体	豊平区内の福祉施設・菓子店				
年次目標	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
収入予定金額	1,300,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円
支出予定金額	1,170,000 円	1,170,000 円	1,170,000 円	1,170,000 円	1,170,000 円
収支予算	130,000 円	130,000 円	130,000 円	130,000 円	130,000 円

② 移動販売車の出店（収益事業）

札幌市保健所に営業登録している軽食販売等の移動販売車を出店し、利用者の利便性の向上を図ります。

移動販売車の出店（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	利用者				
連携団体	特になし				
年次目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入予定金額	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
支出予定金額	45,000円	45,000円	45,000円	45,000円	45,000円
収支予算	55,000円	55,000円	55,000円	55,000円	55,000円

③ 自動販売機の設置（収益事業）

公園利用者の利便に配慮して、清涼飲料水の自動販売機（省エネルギー・防犯対応型）を設置します。

自動販売機の設置（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	利用者				
連携団体	特になし				
年次目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入予定金額	850,000円	850,000円	850,000円	850,000円	850,000円
支出予定金額	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円
収支予算	780,000円	780,000円	780,000円	780,000円	780,000円

④ 「パークライフ」なグッズ貸し出し（収益事業）

ヨガマットやボール、テニスラケットなど、多様な公園利用が促進される用具を貸し出します。手ぶらで来ても楽しめることや、新しい公園の楽しみ方を知ってもらうために何が必要かを考えて提案します。パークライフセンターの利用者にも、展示型のアンケートを用いて意見を徴収し、要望を取り入れます。

「パークライフ」なグッズ貸し出し（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	利用者				
連携団体	特になし				
年次目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入予定金額	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
支出予定金額	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円
収支予算	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円

⑤ 授産施設の出店（収益事業）

豊平区内の授産施設に依頼して、パークライフセンターでパンや菓子を販売し、障がい者の就労支援に貢献するとともに、地元で作られたおいしい商品を利用者に提供します。

福祉施設の出店（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	利用者				
連携団体	豊平区内の福祉施設				
年次目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入予定金額	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
支出予定金額	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
収支予算	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円

⑥ 各種体験イベント（公益事業）

健康や自然、芸術やスポーツなど、「パークライフ」の実現につながるテーマの体験イベントを実施します。各イベントの概要については、本計画書「イベントの開催」(P.93)に記載しています。

各種体験イベント（公益事業）					
実施時期/回数	適宜				
対象	利用者				
連携団体	市民協議会・環境教育団体等				
年次目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入予定金額	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
支出予定金額	254,000円	254,000円	254,000円	254,000円	254,000円
収支予算	▲154,000円	▲154,000円	▲154,000円	▲154,000円	▲154,000円

年度別自主事業売上げ目標

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
カフェコーナー・売店の運営	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
移動販売車の出店	100	100	100	100	100
自動販売機の設置	850	850	850	850	850
「パークライフ」なグッズ貸し出し	100	100	100	100	100
福祉施設の出店	20	20	20	20	20
各種体験イベント	100	100	100	100	100
合計	2,470	2,470	2,470	2,470	2,470

3) 野生動物（キツネ）の生態調査及びエキノコックス症啓発事業（北海道大学と協働事業）

月寒公園に生息するキツネは、近年、人に対する警戒心が薄れることで、人との距離が近くなっており、利用者よりエキノコックス症を心配する声も挙げられています。公園のキツネ対策として、専門家である池田貴子特任講師（北海道大学 CoSTEP）と協働で、令和2年度より、野生動物の自動撮影カメラによるキツネの生態調査を始めました。令和3年度からは、エキノコックス駆虫剤（バイト）の散布を試験実施しております。令和4年度以降も、継続して生態調査とバイト散布に取り組めます。また、パークライフカフェ等のイベントや、動画等、様々な広報媒体を活用して、キツネやエキノコックス症感染防止の普及啓発活動を実施します。

(3) 当公園の魅力等の把握及び向上

1) 当公園の特性と魅力について

月寒公園は、昭和4年から地域住民の勤労奉仕でササを刈る等の公園づくりを推進し、昭和45年からは「月寒公園振興会」が札幌市と共に月寒公園の管理を担うなど、地域住民が関わりながら公園を作り、守り育てた歴史があります。その精神は現代に引き継がれ、再整備において市民協議会が設立され、市民と行政が協働で、「パークライフ」の理念のもと、新しい公園像を作ろうと日々励んでいます。このような市民協働の歴史が、月寒公園の大きな特性の一つです。

月寒公園は、月寒、美園、平岸と3つの地区が隣接しており、それぞれの地区の住民が古くから親しみ、憩いの場としてきました。有料施設や遊具などの公園施設が多く配置されて賑わいがある高台エリアと、月寒神社に隣接して石碑や大径木などの荘厳な雰囲気が残る月寒エリア、特色の異なるふたつの環境を有し、多様な利用ができることも特徴です。

また、月寒公園は再整備により、大型複合遊具やロング滑り台、ポート池など、ファミリー層にとって利便性の高い施設が整えられたことや、パークライフセンターがあることで、冬も楽しめる公園になっていることが、大きな魅力と言えます。再整備により魅力的な施設が多く作られたことにより、特に子育て世代の利用が増加しています。そして、これまでの公園利用にはなかった、新しい公園活動を積極的に受け入れ、日常の中に当たり前公園があるような生活スタイルを提案する「パークライフ」のコンセプトは、子育て世代に受け入れられやすい理念であると考えます。

月寒公園の多様な環境や特性を生かし、若い世代を巻き込みながら市民協働で公園の管理運営を進めることにより、月寒公園の魅力の向上につながることを期待します。

2) 特性を生かし、魅力を高める取組の具体的内容

月寒公園で多様な公園活動を展開し、新しい公園像を市民と共に作り上げるに当たり、次の取組を進めます。

④ つながりが生まれる「月寒公園ピクニック」の開催 **交流の機会**

月寒公園ピクニックは、市民協議会と共に作り上げてきた大切なイベントの一つです。落ち葉かきやノルディック・ウォーク体験など、これまで実施した恒例の企画に加えて、パークライフセンターに設置された移動流し台を活用した食の企画や、賑わいを創出する朝市など、地域の文化を楽しみながら利用者同士の交流が促進されるような新たな企画を提案します。

⑤ 屋外型子育てサロンの機能向上 **子育て世代の参画**

これまで市民協議会との連携を進めてきましたが、日常的に関わるメンバーの固定化、高齢化が課題となっています。再整備により乳幼児親子の利用が増加していることから、乳幼児向けのイベントやプレーパークなどの活動を通して子育て世代が日常的に公園で交流できるような機会を増やし、市民協議会やボランティアとして主体的に公園の管理運営に参画する仕組みをつくります。

⑥ 特色ある環境の活用と利用の推進 **利用の多様性確保**

月寒公園では、利用者の多くが高台エリアを利用しており、オーバーユースの傾向がみられる一方、月寒エリアは利用者も少なく、あまり知られていません。月寒エリアの魅力をより多くの利用者に知っていただき、多様な公園利用を推進するために、大径木を使ったツリーイング体験等多角的な自然体験活動の展開と石碑クイズなど歴史に親しむ企画により、月寒エリアの利活用を推進します。

⑦ 3つの地域と取り組む防災イベントの開催 **地域連携**

月寒公園に隣接した月寒、美園、平岸地区は、災害時に広域避難場所として月寒公園を利用する住民であることから、災害用マンホールトイレや流域貯留施設など、防災関連施設の理解は、災害時の円滑な運用に役立ちます。地域住民を対象として、防災に関連したイベントを実施し、地域コミュニティの拠点として、月寒公園を活用します。

⑧ 利用マナーに関するワークショップ **話し合いの場づくり**

再整備後の月寒公園は、利用者が急激に増加し、利用者の属性が多様になることで、利用者間のトラブル等が増加しています。近隣住民からも、夜間の騒音や路上駐車に困惑する声が挙げられています。市民からの要望や苦情の内容には、価値観の違いによるものも多く、利用者同士が価値観の違いを理解し、お互いに譲歩することで、公園の快適性や利活用の幅が向上すると考えます。

再整備後の月寒公園を、皆が気持ちよく利用するためには、管理者がルールを押し付けるのではなく、市民同士が話し合い、管理者と共にマナー啓発に取り組むことが大切です。市民協議会や近隣町内会を巻き込みながら、利用マナーに関するワークショップを開催し、市民同士が話し合える関係性の構築に努めます。

6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

（1）既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保

当公園ホームページの管理運営は緑化協会が担当します。当公園では、現在公開しているサイトを継続して使用した上で、次のとおりウェブアクセシビリティの確保に努めます。

① 既に達成済みの適合レベル AA 準拠の維持・向上に向けた取組スケジュール

当公園のホームページについては、平成 29 年度に試験を行い、日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

今後の維持・向上に向けた取組スケジュールは、毎年4月に対象職員へのアクセシビリティ講習を行い、「NPO 法人手と手」や「公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会」等の福祉団体に年1回のチェックを依頼し、意見・助言をいただき対応します。

② 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策

新規ページの作成時やページの修正時には、緑化協会で作成した「アクセシビリティマニュアル」に基づき対応します。

③ 試験実施予定時期及び方法

既に試験実施済みですが、JIS 規格の変更やホームページのリニューアルがあった場合は、速やかに JIS X 8341-3：2016「附属書 JB（参考）試験方法」に基づいた試験を行い、結果を公開します。

④ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等）

アクセシビリティ維持・向上の取組については、上記①に示した対象職員へのアクセシビリティ講習、関係団体からの意見聴取のほか、一般の利用者からも電子メール等で意見をいただけるよう、ホームページ上で案内します。

⑤ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等

ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法として、担当者を置いて情報を集中し、専門業者と連携を取り解決します。また、情報の集中を図り、他ドメインでの問題を未然に防ぎ、同じ問題が起きないように対応します。

⑥ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

ウェブアクセシビリティ対応の実績としては、当公園のほか、モエレ沼公園、厚別公園、農試公園、旭山記念公園、豊平川さけ科学館、百合が原公園、川下公園等のホームページは既に日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

7 札幌市内の企業等の活用について

(1) 活用についての考え方

当コンソーシアムの代表である緑化協会では、物品の購入、また外部への委託等については、次に示す理由により、札幌市内の企業・団体を優先的に活用しています。

1) 札幌市内の企業・団体を活用する理由

- 地域経済の発展に寄与するため
- 優秀な技術、商品等をいち早く入手するため
- 地域の高品質な技術や優良製品等が市民の目に留まる機会となるため
- 商品等の輸送時に排出されるCO₂の抑制に貢献するため

当公園の管理においては今後も引き続き、上記理由に基づき、当コンソーシアム全体で次の事項を優先して適切な市内企業を選定し、活用していきます。

2) 札幌市内の企業・団体の中での優先事項

- 福祉施策に積極的に取り組んでいる企業、福祉施設・団体等が生産する物品等
- 環境に配慮した商品や技術を有している企業
- 地域の風土、素材、デザイン、特産等を生かした札幌らしい商品・サービス等

(2) 活用に向けた具体的な取組

当コンソーシアムでは、当公園において上記の理由及び優先事項に適合する札幌市内の企業や商品等を適切に選定するために、次の事項に取り組みます。

- ① 当コンソーシアムの構成団体間、及びそれぞれが管理する公園・施設間の情報を共有して、事業者のコンプライアンス・信用力、業務の体制や実績等を総合的に見極めて企業を選定するよう努めます。
- ② 商品の適正価格、品質、サービスの柔軟性等の要素についてよく検討し、管理経費の節減と適切な業務遂行に努めます。
- ③ 新聞、テレビ、インターネット、情報誌等により、札幌市内の企業や商品等の積極的な情報収集に努め、よりよい活用につなげます。
- ④ 札幌市中小企業振興条例の理念に則り、中小企業や個人経営者の受注機会の増加や、地域の商店などとの連携に努めます。

令和4年度資金計画表

月寒公園等

単位:千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支出	指定管理業務	4,500	6,500	9,000	9,000	9,000	9,000	8,500	7,000	6,500	4,000	3,500	3,241	79,741
	自主事業費	100	200	200	300	300	200	150	50	50	50	50	23	1,673
	法人税等												285	285
	合計	4,600	6,700	9,200	9,300	9,300	9,200	8,650	7,050	6,550	4,050	3,550	3,549	81,699
収入	指定管理費	20,755			20,755			20,755			6,919			69,184
	利用料金収入	1,000	1,500	1,500	2,000	2,000	1,000	500	300	150	50	25	20	10,045
	自主事業収入	150	300	300	400	400	300	250	150	150	30	20	20	2,470
	合計	21,905	1,800	1,800	23,155	2,400	1,300	21,505	450	300	6,999	45	40	81,699
収支差額		17,305	-4,900	-7,400	13,855	-6,900	-7,900	12,855	-6,600	-6,250	2,949	-3,505	-3,509	0
収支差額累計		17,305	12,405	5,005	18,860	11,960	4,060	16,915	10,315	4,065	7,014	3,509	0	